

PICKUPS

語り出そうとする前にすでに話題となっていた。
声高な宣伝やくどくどした饒舌にも耳を貸さぬ
静かなユーザー達がDRYを認めた。
我々のオフィスに噂が伝わる。

そのしなやかで強靱なパフォーマンスに心を射抜かれた人々の熱い噂が……。

意外に知られていない事だが、国内国外を問わず自社でピックアップを開発し生産しているギターメーカーはあまりない。現に楽器店のショーウィンドウを飾る様々なブランドのギターも実は同じ下請パーツ工場で生産されたピックアップをつけている事が多いのだ。当然ボディとピックアップのマッチングに十分な配慮がなされているとは思えないのだ。グレコの開発理念はピックアップを単体としてとらえることを拒否している。なぜならばギターというひとつのマテリアルと有機的に結びついているからなのだ。たとえばネックとピックアップ、弦とピックアップ、ブリッジとピックアップなどというように全てのファクターは相互に深く関係しあっているのだ。グレコではピックアップの開発、生産は当然の事ながらギターボディのそれと同周期に同じファクトリーで行なわれている。この緻密な連携作業がグレコピックアップの卓越した優秀性を形づくったのだ。今やピックアップのリファレンスとさえ認められているDRY。プロの間ではオリジナルを上回るとさえ言われ始めている。

気負わず、それが当然だと言い切る自信が我々にはあるのだ。ピックアップは単純だ。ICやLSIで代表される現代のテクノロジーの水準から見れば前世紀の遺物とも思える程の単純明快さなのだ。しかしコンピューターを生み出すテクノロジーがパーフェクトに「あの音」を再現するかと問えば残念ながらその答えはNOでしかない。楽器の製作とは予期せぬ結果、予期せぬ収穫の連続だ。無数の測定、無数の成分分析、1年の日数を軽く上回る数の試作品。いつしか我々はバイオリンの銘器ストラディバリウスを現代によみがえらせようとする人々のことを思い起こしていた。データではすべて納得しうるのだが、答えは明らかに異なることが多い。いま、「単純なほど難しいものはない」という言葉をかみしめる。ミクロ的な視点全体を誤らせることもあ

れば人間の耳と勘が完成を遅らせることもあった。グレコは考える。我々自身の歴史の中でこれ程悩み抜いたことも、またこれ程の成果をあげたことも幾度とはなかったはずだ。そしてその苦悩が生み落した多数のアイデアは未来に必ず生かされるはずだと。今、我々はここにすべてのラインナップをあなた達、秀れたプレイヤーに指し示すことができる。我々のこの新しいピックアップ達はあなたの思うように歌い始めるだろう。まずは手に取って御覧いただきたい。我々の無数の努力の熱い結実を。

